

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度 第2回所沢市学び創造アクティブPLUS推進委員会
開 催 日 時	令和6年2月8日(木) 16時00分～16時45分
開 催 場 所	所沢市立教育センター 大研修室
出席者の氏名	〔委員〕 東京工業大学名誉教授 赤堀 侃司 所沢市幼児教育振興協議会長 石嶺 雄大 学校応援団コーディネーター 浅見 木綿子 PTA代表 田中 幸裕 PTA代表 黍原 満喜子 中学校 校長会代表 所沢中学校 江原 勝美 所沢図書館 主査 本橋 佐和 保健給食課 指導主事 畑中 結季 中学校教諭 小手指中学校 石原 早紀
欠席者の氏名	小学校 校長会代表 明峰小学校 鈴木 克彦 小学校教諭 北小学校 牧野 涼子
議 題	1 取組報告 (1) アンケート結果の報告 (2) 次年度以降の取組について 2 協 議 協議の視点 「学力向上について」
会 議 資 料	・令和5年度第2回所沢市学び創造アクティブPLUS推進委員会次第 ・学び創造アクティブPLUSをふまえた授業の実施状況調査結果報告
担 当 部 課 名	学校教育課 電話04(2998)9238 (出席者) 教育長 中島 秀行 学校教育部長 中田 利明 学校教育担当参事 吉川 誠 教育センター担当参事 中村 啓 教育センター主幹 阿部 英貴 学校教育課 主幹 刈谷 和哉 教育センター 指導主事 石坂 祐樹 学校教育課 指導主事 北嶋 一済 学校教育課 指導主事 長谷川 義博 学校教育課 指導主事 岩井 大地 学校教育課 指導主事 渡野邊 拓

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	◆開会
司 会	令和5年度第2回所沢市学び創造アクティブPLUS推進委員会を開会する。
司 会	事務局より、本年度の取組を報告する。
司 会	委員の方々に協議をお願いする。 副委員長の代理は所沢中学校 江原校長にお願いしたい。
委員長	事務局の説明に質問はあるか。
委員長	この後、委員の方々に協議をお願いする。本年度の取組の成果も含め協議いただきたい。
委 員①	初めて先生方の話し合いを見て、先生も悩みながら進めていくことが分かった。自分の子供はクロムを使うのが難しいと言っていた。2年生の弟に5年生の兄がアドバイスしてくれた。
委 員②	メインは学校で先生たちが子供にどう接していくのか。グループ協議ではなるべく全部を回った。PTAでの悩みと同じく短期的な目線と中長期的な視点で悩んでいることが分かった。先生たちが準備を進めている中で世の中が進んでしまっていることもある。瞬間、瞬間で子供たちは何かを感じている。先生の余裕があればこそその学力向上。今まで培ってきたものをうまく使いながら進めていくことも大切なのではないかな。ビッグデータの活用。7項目や11項目あると結局覚えていない。子供たちに多くを求めてもパニックになるのではないかな。テーマを絞って行う必要があるのではないかな。
委 員③	単年ではなく2年続けている学校が多いことに嬉しさを感じた。学校として子どもの経験値を上げていくのは有効。赤堀先生の「先生の一言が人生を変える」が印象に残っている。委員を受けた時にICTの大切さが分からなかったが、道具として使うという考え方に納得し、これからの子供たちには必要。子供たちの文章能力が最近低くなっている。人前で話すことの大切さを学んでほしい。学び創造を引き継いでほしい。
委 員④	色々なテーマで話し合っているのが勉強になる。幼稚園でも様々なテーマで話し合っている。幼稚園でも接続期を意識しているが、子供たちはチックになったり不安に思っている子もいる。幼稚園でも褒めて育てることを意識している。自分の子供もクロムを使うことに不安を感じていたが、先生からのプリントが分かりやすく、跳び箱の動画や運動会の踊りの見本もありがたかった。自分で記録することの大切さや、家庭を巻き込むことの大切さを感じた。
委 員⑤	学力とは何か。学力の中にはいろいろなことがある。学校では様々な角度から子供たちを評価している。日々どうやって向上させるか悩んでいる教員からしてみると、どういう側面からアプローチをしていくか悩んでしまった。ICTを話し合いや共有に使用している先生も多いが、我々の努力が実っていない。難しいテーマなのかなと感じた。
委 員⑥	様々な角度から分析をしているのに感心している。昔を思い出すと一斉授業だったが、温かい声掛けの実践を聞き、すごいと感じた。ワクワクが大切であり、所沢中学校の取組内容が子供たちから出てきたものであり、子供たちを信じている先生方が素晴らしい。

委員⑦	<p>中1の子供がいる。クロムの持ち帰りや忘れた場合などの話にドキッとした。振り返りのプリントをしている姿に学び創造アクティブ PLUS での取組だなと感じている。先生方の発表を聞いて、熱意に感謝をしている。図書館見学の際は学習ボードをもち、熱心に聞いてくれている。毎年の読書アンケートでは、一カ月に何冊本を読んだのか2年生、5年生、中2と増加してしまっている。10冊以上読んでいる子も増加している。二極化が進んでいる様子がわかる。団体貸し出しは全体で600冊ほど昨年に比べると落ちている。色々なテーマで貸し出せるのでぜひ活用してほしい。</p>
委員⑧	<p>データを見て、意識が変わってきている様子がわかり嬉しく思う。反面下位層の扱いをどうしていくのかを市として考えていくことが大切。誤答をどう拾っていくかが大切であり、拾う授業が多くなってきている。50分の中でやることが多い。若い教員は全部やりたがってしまうため、この結果になってしまっているのではないか。点数で評価できない力の向上が求められているので、教員は自信がなく不安である。流れについていけないという話があったが、Chrome はまさにそうである。61歳の教員が若い教員に教わりながらやっていたが、「先生の良さは話術と紙だから、紙でいいよ」と話をした。朝読書の時間は削られている。大人の都合で変えられているので、子どもは読まなくていいと思ってしまう。読解力を高めるのであればしっかり読むことが大切。全部やるのはかなり難しい。新聞を各階においたら、読む子が増えた。学級文庫に子供が読みたくなる本があるかどうか大切。</p>
委員長	<p>委員⑧の話聞いて子供が忙しいのを感じた。つき1回授業参加に生かしてもらっているが、先生方が大変自分ではできないようなことをたくさんしている。年配者の先生の話にもあったが、タブレットやPCのトラブルは正直わからない。理屈は分かるが、スキルはわからない。自己肯定感が低くなっている自分もいる。教育・学校ってすごいと感じる。頑張っている子供をみると日本は大丈夫と思ってしまう。所沢の学び創造アクティブ PLUS はここで終了となるが、次期学力向上プロジェクトの成功をお祈りしております。</p>
司会	<p>ただ今いただいた、ご意見を踏まえ令和5年度所沢市学び創造アクティブ PLUS 事業、次期学力向上推進事業の充実に生かしていく。</p>
学校教育 部長	<p>研究報告会に引き続き、推進委員会にもご出席いただき、長時間御協力いただきありがとうございました。推進委員会では、活発な協議をありがとうございました。頂戴いたしました、ご意見は、来年度より新しく始まる事業に引き継ぎ、より一層、所沢市の子どもたちの学力向上に向けた取組が充実するよう、努めてまいります。</p> <p>委員の皆様におかれましては、これまで所沢市の子どもたちの学力向上に向け、御協力くださりありがとうございました。特に、委員長の赤堀先生におかれましては、長きにわたり委員長をお務めいただき、所沢市のために御尽力いただけましたことに大変感謝しております。本当にありがとうございました。</p>
	<p>◆閉会</p>
司会	<p>令和5年度第2回所沢市学び創造アクティブ PLUS 推進委員会を閉会する。</p>